

顛末書

名 称	中野市豊田地域小学校統合準備委員会 第1回施設部会
日 時	平成30年7月4日(水) 午後6時30分～午後8時15分
会 場	豊田公民館 和室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・出席委員8名 原田孝男、竹内晴美、中島成一、伊藤茂、藤澤雅人、両澤宏樹、池田幹男、小林日出夫 ・事務局職員等 小林学校教育課長、阿藤学校教育課長補佐兼総務係長、久保施設係長、清野指導主事、吉越技師、宮崎主査 ・設計業者4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 あいさつ 3 会議事項 <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備について 4 その他 5 閉 会
主な質問・意見等	<ul style="list-style-type: none"> ●被服室、家庭科室で中学生と小学生が共用する机、イスの高さが違うがどのような対応をするのか。 →高さ調整できる机やイスはある。今後も検討してお示していく。 ●小、中の教室の配置については、チャイムの関係もあるので分かっていた方がよい。 ●新築する屋内運動場、プールへの動線は、小、中で分けられているのか。 →分けられている。 ●小学生が既存の屋内運動場への動線はどうか。 →デッキへ出て移動する。 ●技術室の面積はどうか。 →現在 154 m²、改修後 101 m² ●屋内運動場は、小、中での利用は可能なのか。 →授業の運用で可能と考えている。(既存屋内運動場は武道場の利用とすることも可能である。今後検討していく) ●運動会や学校行事の駐車場のスペースはどうか →近くに支所の駐車場があるので、学校行事の際は、あらかじめ予約をし、使用させてもらうことも可能である。 →駐車場スペース確保については、優先順位をつけられる。 ●小学生スクールバスは駐車場で転回できないのか。 →マイクロバスは転回可能である。 ●南側の市道は狭いので、スクールバスのすれ違いは出来ないのではないか。冬は雪もあり、除雪した雪の置き場もないため、狭くなってしまう。 →通行の制限、規制も検討していきたい。 ●支援室は、生徒さんが他の生徒に見られず外側から入室できるよう配慮した方がよいとの意見があったがどうか。 →図面上は特別支援学級であり、支援が必要な生徒は相談室へ入室できるよう配慮している。 ●放課後児童クラブを校内敷地内へ設置してほしいがどうか。 →担当課へ伝えておきます。

	<ul style="list-style-type: none"> ●サブグラウンド、グラウンドのフェンス等の設置はどうか。 →高さ 1,500mm 程度を予定しているほか、防球ネットの設置も考えている。 ●バックネットの位置は変更できないのか。 →野球用のスペースとしては、狭くなってしまう。 →多目的スペースの取り方でグラウンドの面積の確保は調整できると考えている。 ●1、2年生のクラスまでの動線はどうか。 →昇降口から渡り廊下を使って入る。 ●小学生昇降口の向きは、冬は、雪だまりになるのではないかと。 →透明なシャッターみたいなもので対応が可能であり、その他、屋根を設ける等検証したい。 ●中学生昇降口側から校内へ簡単に入って来られるのではないかと。 →パイプシャッターのようなものを設置すれば、見通しも良く防犯対策にもなるが検討していく。 ●トイレの数について、小学校職員室横のトイレは小、中の職員が共用できるのではないかと。それが可能であれば、職員用トイレはなくすこともできるのではないかと。 ●職員更衣室の位置について共用のため、配置を変更した方がよい。 ●放送室、スタジオはつながっていた方がよい。 ●昇降口は学校の顔となるので、小学生昇降口側の緑地帯や記念広場の使い方を検討した方がよい。 ●耐震診断の結果について →今後、基礎調査を実施し、結果を踏まえ検討していく。
<p>今回のまとめと次回の検討事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●今回出た意見をふまえ、引き続き、学校施設整備について検討していく。